

基本施策 7 生涯学習の環境づくり

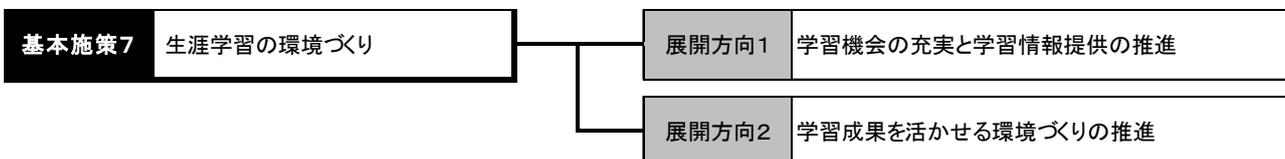
【施策統括課：公民館 主な関係課：くにたち中央図書館、生涯学習課】

<現状と課題>

- 平成 25(2013)年 6 月に閣議決定した「第 2 期教育振興基本計画(計画期間：平成 25(2013)年度～29(2017)年度)」において、知識を基盤とした自立、協働、創造の 3 つをキーワードとする生涯学習社会を実現することで、個々人の自己実現、社会の「担い手」の増加、格差の改善、社会全体の生産性の向上、一人ひとりの絆の確保が図られ、少子高齢化やグローバル化など我が国が直面する危機の回避につながるとしています。
- さらに、本計画では地域社会が抱える課題が多様化・複雑化する中、今後はそれぞれの地域コミュニティで課題解決を図ることが一層重要となり、このような地域社会における課題解決の担い手を育てるため、多様な主体による社会教育の展開が必要であるとしています。
- 国立市では、地域住民の生活における問題や地域の課題を解決するための学習に関する各種事業を実施し、教養の向上や健康の増進、豊かな感情の醸成を図るとともに、市民の自主的な学習やサークル活動を支援するため、図書館や公民館等の生涯学習施設の利用を促しています。
- 図書館の貸出冊数は、平成 22(2010)年度から概ね減少傾向にあり、平成 25(2013)年度では 56.5 万冊、平成 21(2009)年度の 65.2 万冊と比べ 13.3%(8.7 万冊)減少しています。
- 国立市では、平成 20(2008)年 11 月に「国立市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの成長に良い影響を及ぼし、様々な機会に本と出会えるよう、市全体として読書機会を増やすための環境整備に取り組んできました。さらに、平成 25(2013)年 10 月には、子どもたちの良好な読書環境を引き続き整備するため、平成 25(2013)年度～30(2018)年度を計画期間とする「第二次国立市子ども読書活動推進計画」を策定しています。
- 図書館とともに、地域住民に最も身近な学習拠点である公民館の使用回数・使用者数は、平成 22(2010)年度を境に増加傾向に転じ、平成 25(2013)年度では使用回数 6,416 回、使用者数 71,630 人であり、対平成 22(2010)年度比でそれぞれ 8.3%(497 回)、0.3%(262 人)増加しています。
- 今後は、社会状況の変化を踏まえた多様な学習機会や学習活動を支援する人材の確保・充実等に努めることが必要です。また、より多くの市民が学習成果を地域課題の解決に活かすことができる環境づくりが求められています。
- 既存の生涯学習施設がより一層効果的・効率的に活用されるよう、市民ニーズを踏まえつつ、関係部署が密に連携を取り、運営の質向上を図る必要があります。

<施策の目的及び体系>

市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な局面で学ぶことができるとともに、様々な学びを通して、学習の成果を地域社会で活かすことができるまちを目指します。



<展開方向1：学習機会の充実と学習情報提供の推進>

【目的】

日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、学習を通じて生きがいを得ている市民を増やします。

【手段】

- ◆一人ひとりのテーマに合わせた学習情報の提供を推進します。
- ◆公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習・交流機会の提供を推進します。
- ◆市内の大学・高校等の多様な「知の拠点」との連携により、学びを深める機会を創出します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	国立市市民意識調査	65.1 (H26年)	67.0	70.0
市が主催する生涯学習事業の参加者数	人	公民館における生涯学習事業の参加者数	7,867 (H26年)	9,000	10,000
図書貸出冊数	万冊	同左	42.2 (H26年)	53.0	55.0
公民館使用者数	人	公民館施設利用者及び同主催事業への参加者数	70,916 (H26年)	73,000	75,000

<展開方向2：学習成果を活かせる環境づくりの推進>

【目的】

生涯学習による市民の学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。

【手段】

- ◆図書館協力ボランティアなど、学習成果を地域において活かせる活動を促進します。
- ◆幅広い分野で展開している事業を相互に連携させることにより、学校・家庭・地域の教育力向上の効果を高めるため、生涯学習施策を体系化します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域社会に活かしている市民の割合	%	国立市市民意識調査	35.0 (H26年)	37.0	40.0